

研究所だより

第110号 平成30年10月

ICT活用がなかなか進まない先生に送る「ICTのメリットと課題」

学校政策推進課
課長 江竜 眞司

今、草津市では「草津型アクティブ・ラーニング」による授業改善を強く推し進めています。ご存知のように「草津型アクティブ・ラーニング」とは、アナログとデジタルを組み合わせたハイブリッドな授業のことをいい、タブレットPCや電子黒板などのICT機器を有効に活用することが望まれています。…などと言うと、ICTは「使わなければならないもの」といったイメージを持ってしまうかもしれません。そこで、「ICT活用がなかなか進まない」、「電子黒板は使えてもタブレットPCはまだまだ…」といった先生のために、ICTのメリットを中心に紹介します。

ICTのメリット①…「時間短縮」。子どもたちがノートに書いた意見をみんなに紹介する場面では、タブレットPCのカメラ機能を使ってノートを撮影。電子黒板に送信。ICTを使えば一瞬です。また、子どもたちに資料を見せる場面では、見せたい資料をタブレットPCに送信。子どもたちは、手元でじっくりと資料を見ることができ、先生の長々とした解説は不要です。

ICTのメリット②…「授業改善」。タブレットPCを使えば、子どもと先生、子ども同士のデータ送受信が自由自在。プレゼン資料も簡単に作れます。また、クラスみんなの意見をまとめて表示したり、正確に集約したりできます。タブレットPCを授業に導入するだけで、子どもたちが主体的・対話的に学ぶためのベースができます。ICTは、教師主導の一斉授業から脱却するための有効なツールになります。

一方、ICTにも課題があります。一つ目は、無線LANの設置に手間と時間がかかること、通信が安定しないこと。特に中学校では、教室移動が多くてたいへんです。現在、そうした課題を解消するために、無線LANの常設化、教育ネットワークの高速化に向け、予算要求をしています。近い将来、草津市の学校のICT環境はさらに良くなります。

二つ目は、突然の機器トラブルです。トラブル対応には、専門的な知識が必要かもしれませんが、トラブルを恐れて活用しないのは、まさに「宝の持ち腐れ」です。ICT支援員を有効に活用すること、支援員からノウハウを吸収することが大切です。

いかがですか。「使ってみたいけど、なかなか思い切れないなあ。」という先生は、校内の教育情報化リーダーの先生に相談しましょう。学校政策推進課に相談いただいてもかまいません。本課の専門員やICT教育スーパーバイザーが必ず力になります。

子どもたちが「授業が楽しい!」「よく分かる!」と言ってくれることが、教師みんなの願いです。子どもたちの笑顔を思い浮かべて、“Let's ICT教育!”。

夏期研修講座ふりかえり

今年も夏期研修講座を開催しましたところ、のべ981名の先生方に参加していただき、ありがとうございました。提出いただいた各講座のアンケートを参考に、今後も先生方の需要にお応えできる研修講座を企画したいと思います。（体育実技講座は、熱中症予防・未然防止のため中止となりました。）

講座名	【人権教育講座1】 「子どもたちのいまと未来のために、部落の歴史に学ぶ ～中世から江戸時代にかけての差別の有り様～」	開催日	7月24日（火）
		人数	151名
講師	京都教育大学 名誉教授 外川 正明さん		
講座名	【人権教育講座2】 「草津の人権・同和教育が私に教えてくれたもの ～一人の教師として、自分の歩みを振り返る～」	開催日	8月7日（火）
		人数	101名
講師	学校政策推進課 ICT教育スーパーバイザー 糠塚 一彦さん		
講座名	【道徳教育講座】 「考え、議論する道徳科への授業改善」	開催日	7月31日（火）
		人数	105名
講師	南笠東小学校 教頭 上原 忠士さん		
講座名	【道徳教育講座】 「考え、議論する道徳科への授業改善」	開催日	7月31日（火）
		人数	105名
講師	南笠東小学校 教頭 上原 忠士さん		
講座名	【道徳教育講座】 「考え、議論する道徳科への授業改善」	開催日	7月31日（火）
		人数	105名
講師	南笠東小学校 教頭 上原 忠士さん		
講座名	【道徳教育講座】 「考え、議論する道徳科への授業改善」	開催日	7月31日（火）
		人数	105名
講師	南笠東小学校 教頭 上原 忠士さん		



<感想>

- ・人権教育は間違うかもしれない人間が間違わないように共に悩みながらする教育ということが心にささりました。
- ・「人はなぜ差別するのか」の一言をみんなで深く考えることが「共に生きぬく力」にもつながると思う。人を尊ぶ心、お互いを思いやることをいつの時代も大切にする教育があらためて必要だと思う。







<感想>

- ・話を聞いて、自分がわが子に部落差別について聞かれたときに、どのように話すのかを考えました。学校で教わること以外のこと（自分でないと伝えられないこと）を自分の言葉で伝えられるようにならなければいけないと思いました。
- ・「教師」という職につき、改めて目の前にいる子の抱えている課題を一緒に解決していく責任を果たそうと思いました。



<感想>

- ・評価の方法や発問など大変勉強になりました。
- ・実際に授業を見せていただいたり、主発問を考えたりして、2学期からの授業に活かせるなど感じました。評価の視点をしっかり持って、取り組みたいと思います。
- ・学校の重点内容を意識していなかったため、しっかり頭に入れて指導していきたいです。

講座名	【生徒指導・教育相談講座】 「今、子どもたちが危ない！ ～ネット社会に生きる子どもたちに、私たちができること～」	開催日	7月25日（水）
		人数	68名
講師	滋賀県警本部生活安全部サイバー犯罪対策課対策第2係 巡査部長 高橋 祐貴さん 草津警察署生活安全課 少年補導職員 伊藤 千春さん 草津市教育委員会事務局生涯学習課 専門員 武田 純さん		
	<p><感想></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「知らないから指導できない」は通用しないことを改めて認識した。自分自身も時代の流れとともに求められていく教育ができる教員でいたい。 ・小学生ではLINE以外のSNSは年齢制限があるということを2学期以降子どもたちに伝えていこうと思う。 		
講座名	【英語教育講座】 「スタートしました、外国語活動！ ～子どもたちと一緒に楽しむ授業づくりのポイント～」	開催日	8月7日（火）
		人数	42名
講師	大阪成蹊大学 准教授 赤沢 真世さん		
	<p><感想></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度から新しい教材で少々戸惑うことがありました。小学校英語の在り方を理解し、今まで通り児童も教師も楽しめる授業を心がけたいと思います。 ・困ったり悩んだりした時は、今日の資料に振り返っていきたい。 		
講座名	【特別支援教育講座】 「子どもたちの姿から、子どもたちの背景を探る ～モニタリングの成果を最大限に活用する方法～」	開催日	7月31日（火）
		人数	182名
講師	岡山県立大学 准教授 周防 美智子さん		
	<p><感想></p> <ul style="list-style-type: none"> ・お話を聞いていて子どもたちの顔がたくさん思い浮かび、2学期もう一度クラス全体の様子を見ていきたいと思いました。 ・子どもの一番のカウンセラーは教師であるという言葉に、はっとさせられました。 		
講座名	【学級経営講座】 「スキルの上達＝上手な学級経営？ ～一人ひとりの子どもたちが見えてくる関わり方のコツ～」	開催日	8月2日（木）
		人数	38名
講師	学校法人立命館 教育研究・研修センター長 友草 司さん		
	<p><感想></p> <ul style="list-style-type: none"> ・前半にグループ活動があったのが、とてもよかった。 ・他校の児童の様子や先生方の意識や取り組みを知ることができたので、今後の学級経営にいかしていきたい。 		

講座名	【学力向上講座】 「言葉の本当のおもしろさをどうやって伝えるか？ ～国語科の授業を見直して、学ぶ意欲を高める～」	開催日	7月24日（火）
		人数	96名
講師	京都女子大学 講師 吉永 幸司さん		
		<p><感想></p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語の授業を学習時間としてだけでなく、人間力をも育てているという意識を持って取り組んでいこうと思いました。 ・国語の授業のみならず、「ことば」を大切にすることを改めて痛感しました。 	
講座名	【くさつ教員塾1 ICT活用講座】 『教育情報セキュリティポリシー』の最前線を学ぶ！ ～「今できること、すべきこと」と今後のセキュリティ対策～」	開催日	7月30日（月）
		人数	31名
講師	岐阜聖徳学園大学 教育学部 教授 玉置 崇さん		
		<p><感想></p> <ul style="list-style-type: none"> ・多くの情報漏えいは人的なことが原因になっていることを学校全体に再度広げていきたいと思う。 ・日々、自分の仕事や机周りの危機感のなさに反省させられました。今日からしっかり管理していきたいと強く思いました。 	
講座名	【くさつ教員塾2 幼児教育講座】 「幼児期の遊びと1年生の学びをつなぐ、 接続期カリキュラムの活かし方」	開催日	8月2日（木）
		人数	68名
講師	福井大学大学院 准教授 岸野 麻衣さん		
		<p><感想></p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園の遊びの中でも、子どもたちが自分で考え、自信をつけたりしていると改めて気づき、すべての活動が大事で、1つ1つを丁寧にしていけないといけないなと感じました。 ・10の姿について、とても分かりやすく学べた。日々の遊びの中でも、何を育てたいのか意識しながら保育していきたいです。 	
講座名	【くさつ教員塾3 理科教育講座】 「本当かな？ 身近なテーマから、楽しく取り組む 理科実験！」	開催日	8月6日（月）
		人数	11名
講師	高穂中学校 教諭 尾関 大応さん、大島 良太さん 玉川小学校 教諭 奥村 真也さん		
		<p><感想></p> <ul style="list-style-type: none"> ・理科はいかに実感して、それをもとに思考を深めていくかが大切だと感じました。 ・大気圧の実験は、単純な変化から「なんで？」と理由や原因を考えるととても面白い実験で、授業で活用したいなと感じました。 	

講座名	【研究発表大会】		
	①「たくましさやさしさがあふれる子どもの育成をめざして ～元気タイムや元気っ子ひろばの活動から子どもの体づくりを考える～」 老上幼稚園（前大路幼稚園） 園長 河井 明美さん		
	②「児童が既習内容を学習に生かせる教材づくりの追究 ～ICT機器を用いた算数科の学習を通して～」 笠縫小学校 教諭 片山 茂樹さん		
	③「『中学生の読解力がピンチ』を救うために学校ぐるみで言語環境づくりをめざす」 学校政策推進課 参事（前高穂中学校 教頭） 作田まさ代さん		

開催日	8月1日（水）	人数	44名
-----	---------	----	-----

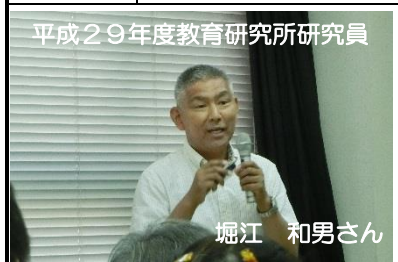


<感想>

- ・ICT を活用した算数科の授業でこのような方法があるのかということにびっくりしました。他の教科でも使えないか考え、真似したいと思います。
- ・論文の内容紹介にとどまらず、会場の聴衆を巻き込んだ活動やパワーポイントによる資料提供など工夫がたくさん盛り込まれた発表であり、聞きごたえがありました。

講座名	【研究報告】 「『わかる・できる・楽しい』プログラミング的思考を高める取り組み ～人型ロボットPepperを活用して～」 草津小学校 教諭（平成29年度教育研究所研究員） 堀江 和男さん		
	【教育講演会】 「“インクルーシブ教育”の先にあるもの ～創造力を高め、仕事に携わる人々の可能性を広げる～」 オムロン京都太陽株式会社 企画部長 堀井 孝佳さん		

開催日	8月1日（水）	人数	44名
-----	---------	----	-----



<感想> **教育講演会**

- ・特別支援学級を担任していて色々な企業の障がい者雇用の話を聞くことがあるが、今日はとても心強い気持ちになった。
- ・障がい者がよりよく仕事をしていけるように環境を整えているという話を聞き、すごく教育に通づることだなぁと感じた。

ムーブノートを活用した授業づくりに挑戦 <スキルアップ支援夏季講座>



スキルアップ支援夏季講座を、志津小学校を会場に7月26日の午後と7月27日の終日、また、草津中学校を会場に8月3日の午前に実施しました。会場をご提供いただきありがとうございました。

前半はICT支援員によるムーブノートの機能についての研修とICT教育スーパーバイザー(ICTSV)である糠塚氏による実際の活用場面についての研修をしました。後半はグループごとにムーブノート等を活用した教材作成と模擬授業を行いました。模擬授業では、短時間にもかかわらず様々な工夫された発表が見られました。参加者から下記の感想にあるように「たいへん参考になった。」という声が多く寄せられ、充実した研修となりました。



スキルアップアドバイザーによる1学期の振り返り



ICT支援員によるムーブノート活用方法と思考を深める「話型」の説明



糠塚 ICTSV によるタブレット PC 活用例に学ぶ



オクリンク、ムーブノート等を活用した教材作成

参加者の感想

便利なICTの機能も教師の発問次第で子どもの学びに差が出てしまうことを学びました。また、単に話し合いさせるだけでは深い学びにはならないということもとても印象に残っています。

毎年、研修の度に学びがたくさんあり、その都度実践してきましたが、今回のムーブノートは初めてだったので、またまたたくさんの発見がありました。

グループの話し合いでは、他校の先生方の実践例やアイデアが聞けて良い時間となりました。

後半の理科の計画を立てるのは楽しくできました。一人ではなかなか考えられませんが、みんなで考えるといろいろな面で考えられるので、より良いものができるなと思いました。

教室環境、学習の展開など、自身の1学期の振り返りをしたいと改めて思いました。

タブレットを活用する方法について悩んでいましたが、今日の研修でいくつか試してみたいと思ったものがありましたので今後積極的に授業に取り入れたいと思います。

今回の実践例を見て具体的なイメージがつかめたような気がしました。今後の授業でぜひ使ってみたいと思いました。

「話型」を決めることが、子どもの思考力を育てるという考え方が素晴らしいなと思いました。

ムーブノートについては初めて学んだので、こんなに便利な機能があったのだと驚きました。

やまびこだより

抹茶茶碗作りにチャレンジ



制作に集中しています。

滋賀次世代文化芸術センターより講師をお招きして、抹茶茶碗を制作しました。

午前中は茶碗の制作。昼食後は、その茶碗に絵付けをしました。

体験活動は初めてでしたが、予想以上の集中力を発揮していました。1つの土の塊が色々な形の茶碗になり、花や葉っぱ、クモの巣やヤモリなどの絵を描き、個性あふれる茶碗ができました。

2か月後、どんな作品が焼きあがってくるのか子どもたちも楽しみにしています。



どんなお茶碗になるかな・・・

10月のたびすけDayについて

やまびこ教育相談室

今回の内容は、やまびこ教育相談室の説明・プレイルームの見学・プレイセラピー体験等です。教育相談室でどんな相談ができるのか等、ご質問に丁寧にお答えします。詳しくは10月のたびすけDayについてのチラシをご覧ください。

(教育相談担当の先生にお尋ねください)



♪ やまびこ 秋の展覧会 ♪



日時：11月13日(火)～11月19日(月) (土日を除く)

時間：9:30 ～ 17:00 (※11/19は正午まで)

場所：教育研究所 2F 研修室

子ども達のすてきな作品や活動写真が並びます。

ぜひご来場いただき、芸術の秋を楽しんでください♪

